

英語科学習指導案

日時 平成24年10月4日(木)5校時
 学級 3年A組(男子21名女子18名計39名)
 場所 3年A組教室
 指導者 教諭 佐藤 英紀

1 単元名 Speaking Plus 3 道案内 一乗り物での行き方をたずねる、教える
 (New Horizon English Course3)

2 単元について
 本単元では、登場人物が外国人の女性に道を尋ねられるという場面設定で、目的地までの電車での行き方を尋ねる、教える会話が題材になっている。普段の生活の中でも、駅やバス停、道を歩いていて人から道を尋ねられることは、外国人だけでなく、日本人からもあり得ることだろう。乗り換えの場所や電車などについて正確に相手に伝えることのできる力、日本人でも外国人でも道を尋ねられたら教えることができると積極的に思いやりのある姿勢、英語を学ぶ意義などと捉える良い機会と考える。
 言語材料としては、「・・・への行き方を教えていただけますか」という丁寧な表現が使われている。この表現は2年次にSpeaking Plus4で現在材料として、「Could you tell me the way to ...?」で扱われており、既習事項であるが、how to・・・と組み合わせされたパターンは初めてである。

3 生徒について
 2年次のNRTでは、偏差値平均(M)が49.4である。5段階分布では、4-38% 3-23%、2-31%と二つの山になっており、アンバランスが見られる。また、大領域別集計では、全国比で、書くことは103であるが、他の内容においては全国比を下回っている。学年としては、聞くこと101、読むこと102、書くこと104と全国比を上回っているものの、話すことでは、97と低い。また、英語ではペア学習を基本とし、教え合いができるように行っている。ペアは、ペアリーダーとパートナーとし、事前にアンケートを取り、ソシオメタリーでペアを決めている。これらを踏まえて、「話すこと」にも積極的に挑戦させ、「分かった」「できた」と実感できる授業を心がけたいと思う。

4 単元の目標 ・電車での道のりをたずねたり、それに応答したりすることができる。

5 単元の指導計画

時間	学習内容	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	教科書の道案内の会話を読み取り、内容を理解する。				疑問詞＋不定詞の表現の構造を理解している。
2 本時	電車での道案内の対話文を作り、発表できる。		・Could you tell me how to get to...?を含んだ表現を用いて道案内の対話文を作り、発表することができる。		

6 本時の指導

(1) 本時の目標

・電車での道のりをたずねたり、それに応答したりすることができる。

(2) 本時の授業構想

- ①《教師の説明》・・・具体的な道案内の場面を提示し、生徒に対して本時のゴールを示す。また、そのモデルを提示し、道案内のスキットの内容を説明する。
- ②《理解確認》・・・基本表現を口頭で、ペア練習・個別練習し、理解度の確認を行う。
- ③《理解深化》・・・教科書の内容を理解した上で、電車での道案内の対話文をペアで助け合いながら作る。目的地までの行き方の対話文の練習を行い、相手に伝えることができるように何度も練習する。できれば、暗唱して、相手を見て、話すことができるようにする。
- ④《自己評価》・・・本時の目標が達成することができたか等について、自己評価シートをもとに、授業を振り返り、道案内の表現が理解できているかを確認する。

(3) 評価の観点と評価規準

	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手立て
・Could you tell me how to get to...?を含んだ表現を用いて道案内の対話文を作り、発表することができる。 (表現の能力)	路線図を見たり、情報をもとに、対話文を正確に作り、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。	路線図を見たり、情報をもとに、対話文を作り、英語でコミュニケーションを図ろうとしている。	机間指導により個別に語句の発音など助言し、正しく発音できるように励まし、支援をする。

(4) 本時の展開

	学習活動と留意点	評価及び教材教具等
教える 教師の説明 12分	<p>①前時の復習を行う。 ・教科書の内容を確認する。 ・本文の音読練習を行う。(全体→ペア)</p> <p>②道案内の表現の導入を行う。 ・Teacher's talkの会話場面から、内容を推測させる。 ・モデルを提示することで、生徒に具体的な目標を持たせる。</p> <p>③モデル対話の説明を行う。 ・学習課題の設定をする。 ・モデル対話を提示する。 ・場面状況を説明する。 ・教師の説明を聞き、本時の活動のイメージを持たせる。</p>	<p>・ワークシート ・テレビ、パソコン</p> <p>・路線図 ・紙板書(対話文)</p>
<p>《本時の目標》 ・ペアで、電車での道案内をしてみよう。</p>		
考えさせる 理解確認 12分	<p>④Could you tell me how to get to...?の形を確認する。 ・口頭で確認する。</p> <p>⑤モデル対話の音読練習を行う。 ・全体→ペア→個人 ・スラスラ音読できるように、練習を行う。</p>	<p>・紙板書</p>
理解深化 21分	<p>⑥例文をもとに、ペアで、ワークシートを使い、対話文の作成を行う。 ・③でのやりとりをもとに対話文作りを行う。 ・ワークシートの活用して行う。 ・ペアで教え合い、協力して行う。 ・見ないで言えるように暗唱させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>A: Excuse me. I want to go to <u>Miyamori</u> to <u>buy wasabi</u>. Could you tell me how to get to <u>Miyamori</u>?</p> <p>B: Sure. Take the <u>Tohoku</u> Line to <u>Hanamaki</u>, and change trains there.</p> <p>A: I see. How many stops is <u>Hanamaki</u> from here?</p> <p>B: <u>Two</u> stops.</p> <p>A: <u>Which</u> line should I take from <u>Hanamaki</u>?</p> <p>B: Take the <u>Kamaishi</u> Line.</p> <p>A: Thank you very much.</p> <p>B: My pleasure.</p> </div> <p>⑦対話文の発表 ・路線図を見て、会話をする。(発表) ・最初は、グループで発表会を行う。 ・その中から、代表を選び、5～6ペア程度、発表する。 ・聞き手を意識して、後ろまで聞こえる声量で行うよう指導する。</p>	<p>・ワークシート</p> <p>《表現の能力》 Could you tell me how to get to...?を含んだ表現を用いて道案内の対話文を作り、発表することができる。 A: 路線図を見たり、情報をもとに、対話文を正確に作り、積極的に発表できる。 C: 机間指導により個別に語句の発音など個別に語句の発音などできるように励まし、支援をする。</p>
自己評価 5分	<p>⑧自己評価を行う。 ・自己評価シートに記入する。 ・授業を振り返り、自己評価をさせる。 ・本時の学習事項の確認する。</p>	<p>・自己評価シート</p>